


一般内料・整形外科
常勤医師 募集

RECRUIT INFORMATION FOR DOCTORS

# 仕事も、人生も、
# 地域医療も。
# 多古で、あなたらしく診る。

緑豊かな田園に根ざし、患者さん一人ひとりと向き合う自治体病院。
地域医療の本質に、ここで向き合う。

国保多古中央病院　Kokuho Tako Chuo Hospital

ABOUT THE HOSPITAL

# 多古町の暮らしに寄り添い、地域をまるごと支える医療を。

国保多古中央病院は、千葉県香取都多古町に位置する地域密着型の自治体病院です。
内科・外科・整形外科・小児科・リハビリテーション科などを中心に、外来・入院・救治・在宅・介護まで、地域の暮らしを支える医療を提供しています。

患者さんとの距離が近く、医師・看護師・コメディカル・事務職が互いに顔の見える関係で連携する。
その温かな風土の中で、医師としての専門性を活かしながら、地域医療の本質に向き合える環境があります。

**12**
診療科目

**4**
併設施設※

**86**
病床数

**成田**
空港まで約20分

※併設施設
ケアプランセンター
訪問看護ステーション
デイサービスセンター
介護医療院
病児保育所



MISSION
地域医療の充実を図り、
安心と満足を提供する病院へ。

VISION
保健・福祉・医療をつなぎ、
地域の暮らしを包括的に支える。

VALUE
技術を磨き、情熱を持ち、
真心と優しさで患者さんに向き合う。



## REGIONAL MEDICINE

# 地域に必要とされる医療を、顔の見える距離で。

高齢者の多い地域に位置する国保多古中央病院では、慢性疾患を抱える患者さん、急性期の対応が必要な患者さん、リハビリや在宅支援を必要とする患者さんまで、幅広いニーズに応えています。

大規模病院のように専門領域だけを切り分けるのではなく、目の前の患者さんを中心に、診療科や職種を越えて連携する。地域の暮らしに近い場所で、一人ひとりの人生に寄り添う医療を実践できることが、当院ならではの魅力です。

# MEDICAL SYSTEM

## 医療・介護・在宅をつなぎ、
## 地域を支える体制。

### DEPARTMENTS

内科　外科　小児科　皮膚科　整形外科
リハビリテーション科　放射線科　形成外科
乳腺外科　消化器内科　消化器外科　呼吸器内科

### FACILITIES

ケアプランセンター、訪問看護ステーション、デイサービスセンター、介護医療院を併設医療から介護・在宅支援まで、地域の暮らしを包括的にサポートする体制を整えています。

### TEAMWORK

医師・看護師・コメディカル・介護職・事務職が顔の見える関係で連携。縦割りのない風通しのよい組織文化が、患者さん中心の医療を支えています。

### ACCESS

千葉県香取郡多古町多古388-1
多古ICから約5分。成田IC・大栄ICから約20分、松尾横芝ICから約20分。成田空港まで近く、旅行・出張にも便利なロケーション。



# MANAGER INTERVIEW

多古町病院事業管理者
## 齊藤　匡先生



CAREER

### 【キャリア】
### 義務年限後も、残り続ける理由

片倉院長と同様に、私も若き日のローテーションでこの多古中央病院と出会った一人です。初めて赴任したのは1993年、医師3年目の頃でした。私は自治医科大学の出身で、研修先の松戸市の市立病院と当院を行き来しながら、小児科の専門医を取得しました。通常、自治医大の卒業生は9年間の義務年限を終えるとそれぞれの道へ進みますが、私はそのまま残り続け、気づけば通算34年目を迎えています。

実は、千葉県内の自治医大卒業生が赴任する公的病院で、小児科を標榜しているのは当院しかありません。先輩が立ち上げた小児科を引き継ぎ、私は「二代目」にあたります。出身は船橋市で、当時は多古町のことを知りませんでしたが、今ではここでの日々が私の医師人生の全てとなっています。

## 「私の名前」で生きていく。
## 一気通貫の地域医療で磨く、
## 医師の総合力。

**大病院では、患者さんにとって医師は「大きな病院の先生」であることが少なくありません。一方、地域病院では、患者さんが医師の顔と名前を覚え、「先生に診てもらいたい」と来院されることがあります。**

PROFESSIONAL PRIDE

### 【医師の矜持】
### 看板ではなく「自分の顔と名前」で仕事をする

初期研修医の頃はまだよく分かっていなかったのですが、医師5〜6年目に再び松戸へ戻って専門研修を積む中で、大病院と当院のような地域病院の違いを強く意識するようになりました。

それは、大病院における医師は、患者さんにとってあくまで「〇〇病院の先生」だということ。病院の看板を頼りに来院され、必ずしも医師個人を目指して来られるわけではありません。一方で、当院のような環境では患者さんとは完全に顔なじみです。「私の名前で、私の顔を見て」来てくださる。個人として信頼を得ている手応えを感じながら、日々の診療に臨めるのです。

私が赴任した時に出会った子どもたちが、今では立派な大人となり、自分の子どもを連れて外来を訪れてくれます。

一人の人生をこれほど長い時間軸で見守れるのは、地域病院ならではの醍醐味です。高い専門性を極め、教授を目指すような道も素晴らしいですが、じっくりと腰を据えて自分のフィールドを持ち、時間をかけて患者さんと向き合う経験も、医師の人生として非常に価値のある選択肢だと私は信じています。

CULTURE

## 【カルチャー】当院が誇る４つの強み

4 STRENGTHS

常勤医師10名程度の小規模な組織。だからこその、大病院にはない多くの強みがあります。

01 **スピード感**
新しい取り組みも、顔の見える関係の中で素早く形にできます。

02 **裁量の大きさ**
一人で診られる範囲が広く裁量が大きいため、自分の理想とする医療を追求できます。

03 **風通しのよさ**
お互いの顔が見える距離感で、いつでも気軽に相談しながら、協調して働けます。

04 **診療科の「縦割り」ゼロ**
「どちらの科が担当か」というような、縦割り組織の弊害がありません。専門の枠にとらわれず、目の前の患者さんを診る文化が根づいています。

特に、大病院にいた頃は、診療科同士で担当を押し付け合うような場面に強い疑問を抱くことがありました。目の前で苦しんでいる患者さんがいるなら、専門外だからと背を向けるのではなく、とにかくまずは診ればいい。医師として最も大切なのは、自分が「なんとかする」というマインドです。当院は、そんな医師としての情熱を持った先生方が集まっている場所だと感じます。

## 【トップの人柄】受け継がれる「明るい人柄」と温かな空気感

当院の働きやすさは、こうした小規模組織の強みだけでなく、院長を筆頭に長年培われてきたアットホームな雰囲気にも理由があります。当院の歴代院長は代々、千葉大学第一外科の先生方が主に務めてこられましたが、皆さん驚くほど根が明るく、気さくな方ばかり。現院長もまさにこの系譜を継いでおり、その卓越した人徳と親しみやすい人柄によって、院内には常に風通しの良い空気が満ちています。

そのため、離職率が低いのも自慢です。非常勤の先生からも「圧倒的に働きやすい」との言葉をいただきます。看護師は口コミを頼りに志望してくれる方が多いので、あまり人材確保で悩んだことがないくらいですね。

## 【町の魅力】穏やかな農村気質と、良好な都心アクセス

多古町という地域そのものも、魅力的です。穏やかな農村地帯のため、患者さんは穏やかで優しい方ばかりです。
実は交通の便も良く、成田スカイアクセス線を使えば、日暮里や上野へ気軽にアクセスできます。成田空港は当院から車で15分程の距離にあり、バスターミナルから空港シャトルバスも運行しているので、金曜日の勤務後に海外へ飛び、月曜日に帰ってくることが可能です。さらに、ゴルフや釣り、サーフィンを満喫する先生や看護師もいます。まさに、プライベートも徹底的に楽しむ「ワークライフバランス」を体現できる立地なのです。



## 【メッセージ】何でも診れる「医師の総合力」を磨く場所

当院のような公的病院は、無くすことのできない地域のインフラでもあります。医療を取り巻く環境は日々変化していますが、私たちはこの場所で、地域医療の拠点として機能し続ける責務があります。
外科であれば、「リハビリや外来を中心に、じっくり患者さんに寄り添いたい」というベテランの先生にはぴったりの環境です。これから経験を積みたい若手にとっても、医師の人数が少ない分、自らが主治医として関われるチャンスが豊富にあります。
内科領域では、外来での初診から入院管理、そして退院後の訪問診療まで、一人の患者さんを「一気通貫」で診る経験を積むことができます。医療の全行程に自らの責任で関わるからこそ、総合的な臨床力を磨きたい後期研修医の先生や、総合内科専門医を目指す先生には理想的です。実際、過去に成田赤十字病院から症例経験を積みに来られた先生も、当院での経験の濃さに、予定を延ばして在籍されたほどでした。
地域医療の現場で症例を集め、研究活動を行うことも十分に可能でしょう。ネット環境さえあれば、どこからでも最新の知見にアクセスできる時代ですから、医師としての成長や研鑽は、志次第でいくらでも深めていくことができます。
仕事も私生活も充実させながら、プライマリ・ケアのマインドを持って**「長く頼りにされたい」「何でも診られる総合力を身につけたい」**――そんなお考えを持つ先生は、ぜひ一度見学にお越しください。
当院はこれ以上ない、最高の自己実現の場となるはずです。

# DIRECTOR INTERVIEW



WORK WITH PASSION

院長
## 片倉　達　先生

### 仕事も遊びも、全力で。
### 豊かな人生を共に歩む仲間へ。

片倉院長が初めて国保多古中央病院に赴任したのは、医師になって4年目のこと。その時に強く感じたのは、「なんて楽しい病院なんだろう」という驚きでした。

職種や立場に関係なく、誰もが人と人として向き合い、
困った時には自然と協力し合う。
この病院には、今もなお受け継がれている温かな風土があります。




CULTURE & TEAMWORK

## 【私の原点】「なんて楽しい病院なんだろう」という衝撃

私が初めてこの病院に赴任したのは1997年、医師になって4年目のことでした。当時は千葉大学の第一外科に所属しており、若手のキャリアとして最初の4年間は複数の病院を回るのが通例でした。当院もそのうちの一つだったのですが、私にとって「ものすごく楽しい病院」という強烈な印象が深く心に刻まれることになります。
当時を振り返ってみると、この病院では組織の「上と下」ではなく、「人と人」として全員が向き合っていました。

> **大きな病院では、このようなアットホームな環境はなかなか望めません。**

事務職から他の専門職までとにかく皆の仲が良くて、風通しがとてもいい病院だったのです。もちろん昼間は真剣に仕事をしますが、終業後は釣りや麻雀をしたり、休日にはゴルフをしたりと、職種を越えて一緒に遊んでいました。そんな関係性があったからこそ、仕事で何かお願いをしても、どの部署も非常に協力的に動いてくれたのです。
その後、私は大学に戻り、海外留学を経て、成田赤十字病院や長野県の関連病院などで勤務しましたが、どこに赴任しても私の心の中にある理想の病院は常にこの多古中央病院でした。長野県の関連病院から、2009年に千葉への帰任が決まった際には、私から「行かせてください」と志願して当院に戻ってきました。
大きな病院では、このようなアットホームな環境はなかなか望めません。この規模感だからこそ生まれる温かい風通しの良さを、これからも大切に維持していきたいと考えています。

## 【病院の雰囲気】コロナ禍を経てなお、失われないつながりの深さ

正直にお話しすると、今でも当時の雰囲気のままかと言えば、必ずしもそうではありません。やはりコロナ禍の影響は非常に大きく、以前のように皆で気軽に集まることは難しくなりましたし、世の中的にもそうした付き合いを好まない風潮に変わりつつあります。
しかし昨年、久しぶりに開催した忘年会には、全職員約200名のうち半数近くが参加してくれました。今の時代、部署単位の集まりならともかく、全体イベントにこれほどは集まらないでしょう。これこそが、当院が昔から培ってきたかけがえのない風土なのだと改めて実感しました。

## 【ライフスタイル】多忙な医療現場でも、人生を犠牲にしない

“人と人“として向き合う「垣根のない風土」と並ぶ、もう一つの当院の魅力は「ワークライフバランスを大切に働ける」ところです。私は基本的には、「半分はしっかり働いて、もう半分は思い切り遊べばいい」と考えています。
現在の医療現場は、昔に比べて時間のゆとりがなくなってきているのも事実です。日々の忙しさが、趣味や私生活にエネルギーを注ぐ余裕を削いでいるように感じることもあります。しかし、だからといって自分の人生を犠牲にしてほしくはないのです。人生は仕事だけではありませんから、当院をただ働く場所ではなく、充実した人生を送るための場所にしてほしいですね。

LIFE

## 【多古町の魅力】
## ゴルフ、サーフィン、海外旅行――大好きな趣味をすぐそばに

多古町のロケーションは、アクティブな趣味を持つ方にとってこれ以上ない環境です。まずは成田国際空港が近いので、海外旅行へはすぐに行くことができます。さらに、海が近いのでサーフィンや釣りも楽しめます。当院にはサーフィンをしてから麻酔をかけに来る先生や、当直に入る先生もいるくらいです。そして何より、ゴルフをするには最高の場所です。コンディションが良いことで有名な練習場「ダイナミックゴルフ」が近くにあり、ナイター設備もあるので、昔は仕事終わりにワンラウンド、今でもたまにハーフを回ったりしています。先日は病院のゴルフコンペも開催しました。ちなみに、人口1万数千人のこの町では、平日の町民ゴルフコンペに仕事を休んで200人も集まるんですよ（笑）。中学校にはゴルフ部もあり、町全体にゴルフが根づいています。この町は、役場や街並みが度々ドラマのロケ地に選ばれるほど風情があり、美しい田園風景が広がっています。「ゴルフが好き」「釣りが好き」「サーフィンが好き」――そんな大好きな趣味をトコトンやりたくて当院を志望した、という志望動機も私たちはいたってポジティブに受け止めます。

> **完璧な人なんていない。だから、**
> **当たり前に助け合う**

COMMITMENT & PASSION

## 【院長としての覚悟】
## 変わる責任、変わらない臨床への情熱

当院をこれからも守り続けていくために、院長となった今、勤務医時代と大きく変わったのは責任の重さです。採用活動や病院の管理、そして何より患者さんに選ばれるための取り組みなど、やるべきことは山積みです。
ただ、臨床に向き合う姿勢は以前と何も変わっていません。今日も手術を終えてから、このインタビューの場に来ました。2024年度の日本臨床外科学会で優秀論文賞をいただいた術式なのですが、そうした高い専門性を持った医療を今も現場で提供し続けています。経営の観点からは「院長業に専念すべき」と言われるかもしれませんが、私にとって「目の前の患者さんを診ること」は医師としての原点であり、最大の使命です。もちろん、私一人の力には限界がありますが、ありがたいことに当院には苦手な分野をフォローし、お互いの強みを活かし合える副院長や管理者の先生方がいます。そうした支えがあるからこそ、私は自分が力を注ぐべき場所に集中することができているのかもしれません。

## 【職場の強み】垣根のなさは、診療科を越えた連携へ

医師同士の間でも、この支え合う文化はごく当たり前に機能しています。常勤の先生方は私が何かお願いをしても柔軟に力を貸してくれますし、全員が「この病院をなんとか良くしていこう」という意識を持って取り組んでくれています。
内科と外科の風通しも良く、内科で診ていたがん終末期の患者さんを「ここからは外科で診ますよ」と引き継いだり、逆に外科で困った時は内科に相談したり。お互いの顔が常に見える環境だからこそ、スムーズな連携が実現しています。誰だって完璧ではありませんし、やはり最後は力を合わせてやっていくしかありません。だからこそ、私たちと共に病院を支え、未来を引っ張ってくれるような先生との出会いを願っているのです。



MESSAGE

## 【メッセージ】
## 共に笑い、支え合える、最高のチームを創りたい

私が先生方に最も望んでいるのは、この風土を大切に、周囲と協調し合える「お人柄」です。一緒にこの病院を盛り上げてくれる仲間を、心から歓迎します。仕事に一生懸命取り組みながら、同時に、この病院あるいはこの地域に来たことそのものを全力で楽しんでもらえたら最高ですね。仕事も人生も豊かに謳歌したいという先生と、最高のチームを築いていけたら嬉しく思います。

# 募集要項



## WORK STYLE

### 地域医療に向き合いながら、自分の人生も大切にできる働き方を。

**週5日・平日のみ勤務。土日祝休みで、メリハリある毎日を。当直は月3回程度で、ウォークイン・救急搬送ともに対応数は少なめです。**

**定時勤務終了を目指しており、仕事後の時間を自分のために使いやすい環境です。**

### 全科共通

**募集科目：一般内科、整形外科 ※詳細は下記参照**
**勤務日数：週5日**
**就業時間：08：30～17：15**
**→時短勤務：応相談。**
**短時間勤務の要件に叶えば、利用可能。**
**（多古町の規則に依る）**
**休憩時間：60分（概ね12:00～13:00）**
**当直回数：月3回程度**
**当直体制：当直（救急あり、全科当直：医師1名体制）**
**基本給与：年俸：1,450万円～1,750万円程度**
**（賞与・各手当・当直手当：月3日／9万円含）**
**※30代半ば～50代後半／医師歴：10年～25年程度を想定**
**（例）50歳、医師歴23年程度の場合：**
**週5日／当直　月3日／年俸：1,700万円程度**
**当直手当：別途支給あり**
**当直手当：3万円／回（平日、日曜・祝日共通）**
**オンコール：あり（頻度：実働0-5回程度）**
**その他：医務手当、呼出手当、救急診療手当**

## BENEFITS & ENVIRONMENT

### Q OLを大切にした勤務環境。

**年俸1,450万円～1,750万円程度（当直手当含む）。有給休暇年20日、夏季休暇6日間、退職金制度あり。**

**借り上げ社宅対応可、学会参加補助、病児保育利用可、駐車場完備。**

- 週5日勤務
- 土日祝休み
- 8:30～17:15
- 当直 月3回程度
- 救急対応少なめ
- 社宅相談可
- 学会補助あり
- 病児保育あり



RECRUITMENT DETAILS

# 募集要項

## 一般内科

在籍常勤医師数：2名（50代）
募集背景：体制強化
応募資格：臨床経験10年以上
勤務日数：週5日
勤務曜日：月曜～金曜
就業時間：08：30～17：15
休憩時間：60分（概ね12:00～13:00）
休 日：土曜、日曜、祝日
勤務内容：【日勤帯】
＜外来診療＞
外来名：一般内科外来
担当コマ数：週7コマ
外来患者数：1コマ20名程度
＜病棟管理＞
担当病床：一般
患者数　：20名程度
夜間看取り：当直医が対応
【夜間帯】
＜当直対応＞
勤務回数：3回／月程度
救急件数：ウォークイン0-1件、
救急搬送0-1件
当直体制：医師1名、看護師

## 整形外科

在籍常勤医師数：1名（60代）
募集背景：体制強化
応募資格：臨床経験10年以上
勤務日数：週5日
勤務曜日：月曜～金曜
就業時間：08：30～17：15
休憩時間：60分（概12:00～13:00）
休 日：土曜、日曜、祝日
勤務内容：【日勤帯】
＜外来診療＞
担当コマ数：週6コマ
外来患者数：1コマ20名程度
＜病棟管理＞
担当病床：一般
患者数　：15名程度
夜間看取り：当直医が対応
＜整形外科オペ＞
なし、応相談
※ご希望いただける先生がいればご相談ください
【夜間帯】
＜当直対応＞
勤務回数：3回／月程度
救急件数：ウォークイン0-1件、
救急搬送0-1件
当直体制：医師1名、看護師

## 福利厚生

休暇：夏季休暇, 年末年始休暇, 有給休暇
有給休暇（年20日）
夏季休暇（5月～11月の間に６日間）
年末年始休暇（12/29～1/3）
退職金：あり（条例に基づく）
各種保険：労災保険、健康保険、厚生年金
住宅手当：借り上げ社宅対応可能。
一部医師負担あり（現在：7,000円程度）
通勤手当：距離により支給。高速代支給無し。
時間外手当：あり
学会参加：宿泊を伴う場合は年２回
宿泊を伴わない場合は月２回迄補助あり
昇給：あり（勤務年数等による）
契約期間の定め：なし
試用期間の定め：あり(雇用後6ヶ月間)
定年制：65歳
時間外勤務：あり
固定残業代：なし
給与〆支払日：21日払い
受動喫煙対策：敷地内禁煙
自己都合退職の申告期間：3ヵ月
その他福利厚生：育児支援 ： 病児保育あり
（空き枠あり、利用可能）
駐車場 ： あり(月額：無)
大学医局 ： 千葉大学、自治医大医学部との連携実績あり



# 成田空港に近く、
# 田園の穏やかさに包まれる町。

TRAVEL

## 旅行を楽しみやすい

多古町は、喧騒から離れてリフレッシュしたい時のドライブや小旅行にぴったりな場所です。
四季を彩る「道の駅 多古 あじさい館」 町の中心を流れる栗山川沿いにあり、6月には約10,000株のあじさいが咲き誇る遊歩道が有名です。川をのんびり進む「さっぱ舟」の遊覧やカヌー体験も楽しめます。



GOLF

## ゴルフを楽しめる

町全体にゴルフ文化が根づいており、仕事後や休日に楽しむ職員もいます。
「多古カントリークラブ」や「成田ハイツリーゴルフ倶楽部」など、自然の地形や美林を活かした戦略的な丘陵コースが点在しています。



SEA

## 海も身近な距離

車で30分ほど南下すれば、サーフィンや海水浴の聖地である「九十九里海岸」へすぐにアクセスできます。釣りやサーフィンなど、アクティブな趣味が楽しめるロケーションです。

COMMUNITY

## 人と人、新と旧がつながる温かい町

多古町は、古くからの伝統を大切にしながらも、外からの人々を温かく迎え入れるオープンなコミュニティが育っています。6月のあじさい祭りで開催される「多古米振舞行列」や、江戸時代から続く「多古祇園祭」など、町民が一体となって盛り上げる伝統行事が盛んです。



# WHY TAKO




## ここで働く医師にとって、多古町はどんな場所か。

### 顔の見える地域で、医師としての手応えと、落ち着いた暮らしを両立する。

多古町は、都市部のような慌ただしさから少し離れた、穏やかな田園地域です。
一方で、国保多古中央病院には高齢者を中心に、ファミリー層を含む幅広い患者さんが来院します。
地域の患者さんと長く関わり、生活背景まで見据えながら診療する。
大規模病院では得にくい「自分の診療が地域を支えている」という手応えを、日々の診療の中で感じやすい環境です。
また、成田空港や主要道路へのアクセスも良く、休日の過ごし方にも選択肢があります。
地域医療にしっかり向き合いながら、自分の暮らしや家族との時間も大切にしたい先生にとって、多古町はバランスの取りやすい場所です。



**01** **患者さんとの距離が近い**
顔なじみの患者さんと長く関わり、生活背景まで見据えた診療ができます。

**02** **幅広い診療経験が積める**
高齢者医療を中心に、内科・整形外科・リハビリ・在宅支援まで、
地域医療に必要な総合力を磨けます。

**03** **医師としての存在感を持てる**
大きな組織の一員として埋もれるのではなく、
地域に必要とされる医師としての手応えを感じられます。

**04** **暮らしの余白を持てる**
落ち着いた地域環境の中で、仕事だけに偏りすぎない働き方を目指せます。

# HOSPITAL FEATURES



## 顔の見える規模だから、
## 相談できる。動ける。続けられる。

### 地域医療を支える病院で、
### 医師としての総合力と、自分らしい働き方を育てる。

国保多古中央病院は、地域に欠かせない医療インフラとして、外来・入院・救急・リハビリ・在宅支援・介護との連携まで、幅広い役割を担っています。大規模病院のように診療科ごとに分断されすぎるのではなく、医師同士、職種同士が顔の見える距離で相談し合えることが大きな特徴です。

目の前の患者さんにとって何が必要かを考え、外来から入院、退院後の生活までつながりを持って診る。その経験は、地域医療に必要な総合力を磨く機会になります。

また、週5日・平日のみ勤務、土日祝休み、対応数少なめの当直体制など、メリハリを持って働ける条件も整えています。地域に必要とされる医療に向き合いながら、医師としても、一人の生活者としても、長く続けやすい働き方を目指せる環境です。

“大きすぎない病院”
だからこそ、
医師の判断と
チームの連携が、
地域の安心につながる。

**01** **自治体病院としての安心感**
地域に必要とされる公的病院として、安定した基盤のもとで診療に向き合えます。

**02** **外来・入院・退院後までつながる医療**
一人の患者さんを長い時間軸で診る経験を積むことができます。

**03** **診療科の垣根が低い連携体制**
内科・外科・整形外科・リハビリなど、顔の見える距離で相談しやすい環境です。

**04** **医師としての裁量と手応え**
地域の現場で、自分の診療が患者さんの暮らしを支えている実感を得られます。

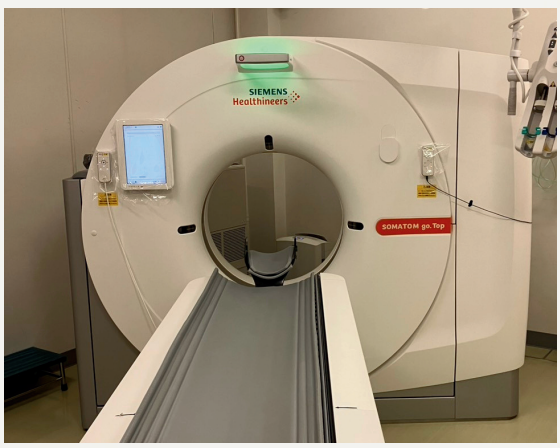
**05** **長く働きやすい勤務環境**
土日祝休み、当直対応数少なめ、学会補助、病児保育など、
働き続けやすい支援があります。



OUTLINE

# 病院概要

名称：国保多古中央病院
住所：〒289-2241
　　千葉県香取郡多古町多古388番地1
開設：1951年8月1日
院長：片倉 達（外科／50代）
診療科目：内科・外科・小児科・皮膚科・整形外科・消化器内科
　　呼吸器内科・消化器外科・リハビリテーション科・放射線科・
　　形成外科　乳腺外科
アクセス：【東関東自動車道】
　　成田IC から約20分（国道295号・国道296号経由）
　　大栄IC から約20分（国道51号・県道79号経由）
　　【圏央道】
　　松尾横芝IC から約20分（はにわ道・国道296号経由）
　　多古IC(R8.11.7開通) から約5分（国道296号経由）
カルテ：電子カルテ(メーカー：富士通)
救急指定：2次救急指定
施設ＨＰ：https://takochu.jp/
実績：診療実績（令和7年度）
　　１日平均外来患者数 約200人
　　１日平均入院患者数 約60人
　　新規患者数 外来 65名／月、入院51名／月
　　病床稼働率 約65%
　　平均在院日数 一般病床21日、介護病床 48.9日
　　年間救急車搬送台数 約260台 前後（月平均 約20台前後）
体制：医師、看護師（コメディカル）体制（2026年4月現在）
　　医師 常勤 8名／非常勤 28名
　　看護師 正看護師 72名／准看護師 7名






# 地域に必要とされる医療を、
# 自分らしい人生とともに。

国保多古中央病院では、患者さん一人ひとりにあたたかく向き合い、
地域医療を共に支えてくださる先生を歓迎します。まずはお気軽にご連絡ください。

CONTACT

エムステージ Rakusai RPO部
担当：添島・浅井（そえじま・あさい）

国保多古中央病院

〒289-2241 千葉県香取郡多古町多古388-1

TEL: 0479-76-2211